

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	児童館母親クラブ活動支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 牧野淳一
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2158
				法令根拠	合志市地域組織活動育成事業補助金交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	3	2	4	10589			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 S62 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
児童館母親クラブの活動に対して補助する。(地域組織活動育成事業)
①親子及び世代間の交流、文化活動を行う ②児童養育に関する研修活動を行う ③児童の事故防止等活動を行う の3つの活動条件が必須
【業務の流れ】
①補助金交付申請書(添付:事業計画書、収支予算書)の受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金支払(支出負担行為、支出命令書)
⑤実績報告書(添付:事業報告書、収支精算書)
【主な予算費目】
補助金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 児童館を中心に活動している母親クラブに対し活動助成を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 母親クラブ数 団体 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 子育てに興味のある地域住民	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市内の人口 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童の健全育成を図る地域活動の推進ができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 母親クラブへ登録者数 家族 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 安心して仕事ができる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 地域のボランティアの数 団体 ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	360	360	300	300	240	300		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	207	180	150	150	120	150			
	(A) 事業費計	千円	567	540	450	450	360	450	0		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	30	30	30	50	30	30			
	(B)人件費計	千円	119	119	199	199	119	119	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	686	659	569	649	479	569	0		

活動指標	ア 団体	3	3	3	3	3	3	3	3	目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
対象指標	ア 人	107	115	115	54407	54600	54800	3		
成果指標	ア 家族	107	115	107	237	240	250			
上位成果指標	ア 団体	348	350	350		355	360			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
母親クラブは、各児童館の開館に併せて結成しているが、母親クラブに対しての活動助成は、平成9年6月5日に国の児童手当法のなかの「児童環境づくり基盤整備事業」により実施されている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
核家族化等の理由により、子どもを保育所等に預けていない若いお母さんの育児に対する不安や孤独感といった悩みや心の病気が増えていることもあり、母親の精神的負担の軽減のための仲間づくりや子育てに関する情報収集の場としての母親クラブの存在は大きく申し込みが増えている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
本事業の主旨はである児童の健全育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動促進を図る団体への補助であるが、本市では、児童館を中心に活動する母親クラブ等に補助しているものの、なかなか人材の確保や育成が難しい。

事務事業名	児童館母親クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図「児童の健全育成を図る地域活動の推進ができる。」ことにより、結果「母親の子育てに対する精神的負担の軽減や不安の解消を図ることができる」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 当該事業は、法律に規定された事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 国の規定する事業であるため、国にゆだねられている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 国の規定する事業であるため、国にゆだねられている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 意図「児童の健全育成を図る地域活動の推進ができる。」が達成されず、結果「母親の子育てに対する精神的負担の軽減や不安の解消を図ることができる」が困難となり、子どもが生まれず、市が衰退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 県の定める活動条件を満たした上での補助事業であり、補助基準額が県で定められている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 当該事業については、補助事務だけであるため現在が最低業務時間である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 児童館によっては、お断りやキャンセル待ちも一部あるが、他の児童館の母親クラブを紹介する等して対応しているため、現状、公平性である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。 核家族化等の理由により、子どもを保育所等に預けていない若いお母さんの意見に対する不安や孤独感といった悩みや心の病気等が増えていること

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 本事業の母親クラブへの補助は引き続き行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

核家族化等の理由により、子どもを保育所等に預けていない若いお母さんの育児に対する不安や孤独感といった悩みや心の病気等が増えていることもあり、母親の精神的負担の軽減のための仲間づくりや子育てに関する情報収集の場としての母親クラブの存在は大きい。また、最近では父親の参加、親子、親同士のつながりも重要視されていることや地域ぐるみで子育て支援の意識の共有や向上が必要であるため、補助だけでなく児童厚生員を通じた指導を行っていく。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)